

# 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 (Rev. 3.0) 対応状況等に関する調査表

(1)企業名	株式会社ビーイング	
(2)情報共有システム名	BeingCollaboration	
(3)情報共有システム提供方法	ASP方式	※ASP方式又はサーバ方式を記載
(4)担当者	営業担当 池端元彦 開発担当 落合由充	
(5)電話番号	営業：052-205-6822 開発：03-5348-3596	
(6)E-mail	営業：ikebata@beingcorp.co.jp 開発：y-ochiai@beingcorp.co.jp	
(7)URL	<a href="http://www.be-collabo.jp/">http://www.be-collabo.jp/</a>	

## 調査票の記入に対する留意事項

- ※システムのインストール範囲の「Rev. 3.0」の欄：情報共有システム機能要件Rev. 3.0で実装すべき機能として明示されているものを「○」としています。
- ※開発状況及び開発方針の「HXX.XX時点」の欄：「HXX.XX時点」のXXには、申請した年月を記入してください。開発状況を「○又は×」で記入してください。部分的な実装の場合は「△」を記入の上、「補足事項」に詳細を記入してください。
- ※「開発完了予定年月」の欄：HXX.XX時点以降に開発完了予定の場合は「開発完了予定年月」を、開発意思が無い場合は「×」を、開発が未定の場合は「未定」を記入して下さい。
- ※「補足事項」の欄：部分的な実装の場合、実装する/しない機能の細別を記入してください。
- ※最新のコーンズは、2009年8月にリリースされたWeb版コーンズ・テクニカル登録システムを2012年11月6日に一部改良したシステムを指します。
- 2012年11月のシステム改良では、コーンズファイルに関するXML定義書が一部変更されています。

## 機能要件一覧

情報共有システムで実現すべき業務改善目標	情報共有システムの機能要件 (概要)	システムの実装範囲			補足事項
		Rev3.0	H24.11時点	開発完了予定年月	
(1) 上流工程情報 (調査、設計段階の情報) の引継ぎ 地質調査、詳細設計など上流工程の情報を請負者において早期に利用可能とし、施工計画の立案を効率化、迅速化する。	6: 書類管理機能				
	6-1: 共有書類管理機能 ・調査・設計成果、設計図書登録できる。	○	○		
(2) 協議経緯及び協議内容の共有 工事 (複数) に関する質問・回答など、経緯を含めてその内容を体系的に表示させ工事関係者間で共有し、情報伝達を効率化する。監督職員等が関連する工事の担当者、効率的に連絡事項を伝達する。	2: 掲示板機能				
	・質問・回答など、発注者-請負者間で文章 (記事・コメント) を登録・削除・閲覧できる。 ・記事には、閲覧可能なシステム利用者の範囲を設定できる。 ・監督職員が担当する複数の工事に対して、登録された記事・コメントをツリー構造等で体系的に一覧表示が	○	○		
(3) 受発注者間のスケジュール調整の効率化 グループウェアに登録している監督職員のスケジュール情報を自動的に情報共有システムに取り込み監督職員の空き情報を共有し、立会確認、段階確認などのスケジュール調整を効率化する。	3: スケジュール管理機能				
	3-1: 帳票スケジュールデータ連携機能 ・発議された帳票から、立会・臨場などの予定を抽出し、「機能3: スケジュール管理機能」に自動登録できる。または、「機能3: スケジュール管理機能」で登録した情報を利用して、帳票を作成できる。	○	○		
(4) 二重入力を排除した帳票作成 上流側のシステムに登録された工事の基本情報などを取り込み、帳票作成等で利用できる。  帳票の情報を項目単位で共有化し、二重入力を排除することで、帳票作成を効率化する。	1: 工事基本情報管理機能 ・工事基本情報を、登録、修正、削除、参照できる。				
	1-1: コーンズファイルインポート機能 ・コーンズの登録内容を取り込み、工事基本情報として利用できる。 ※評価の目安 最新のコーンズで出力したコーンズファイル (XML形式) から工事基本情報を取り込める: ○ コーンズファイル (XML形式) 取り込み未対応だが今後対応予定: △ 対応の予定なし: × 契約関連システム連携機能 ・契約関連システムの登録内容を取り込み、工事基本情報として利用できる。	○	○		2012年11月6日のシステム改良にも対応しています。
	4: 発議書類作成機能				
	4-1: 帳票 (鑑) 作成機能 ・帳票 (鑑) を作成、修正、削除できる。 ・工事書類 (電子) 及び工事完成図書 (電子成果品) の管理項目を自動的に作成ができる。 ・工事基本情報が帳票 (鑑) に反映される。	○	○		
	4-2: 帳票 (添付) 作成機能 ・要件は「機能4-1: 帳票 (鑑) 作成機能」と同様とする。	○	○		
	4-3: 発議書類取りまとめ機能 ・情報共有システム、または外部システムで作成した帳票を発議単位で取りまとめることができる。 ・帳票データファイル <sup>※2</sup> を発議単位で取り込むことができる。 (※「機能10-1: 帳票データファイル入出力機能」に対応)	○	○		
	4-4: 発議書類再利用機能 ・発議書類の作成にあたり、最終決裁が完了した帳票 (鑑) の記載内容を利用して新たな別の工事帳票の作成ができる。	○	○		

<p>(5) 承諾、確認行為の時間短縮</p> <p>時間、場所にとられない書類の提出及び承認行為を可能とする。</p>	<p>5: ワークフロー機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム上で、発議書類を提出、承認できる。</li> <li>発議書類の承認履歴及び現在の承認状況を確認できる。</li> </ul>				
	<p>5-1: 事前打合せ機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>打合せ簿(鑑)で発議する前段階において、受注者は情報共有システムに事前打合せ資料を登録できる。</li> <li>発注者は、登録された事前打合せ資料を自動で受け、内容を確認したのち回答する。また、回答にはコメントを付けることができる。</li> </ul>	○	○		
	<p>5-2: 発議・受付機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>請負者側の発議者は、「機能4-3: 発議書類取りまとめ機能」で取りまとめた発議書類を、発注者側の受付者に提出することができる。(発注者発議についても同様だが、発議から請負者側の受付者に提出するまでに承認、合議を挟む。)</li> </ul>	○	○		
	<p>5-3: 承認・合議機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>承認者はシステム上で発議書類を承認できる。</li> <li>帳票(鑑)に添付したファイルについては、ウィンドウ切り替えやサムネイル等のプレビュー表示(複数ファイルを同時に)ができる。</li> </ul>	○	○		
	<p>5-4: 発議書類確認機能(権限者機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークフローの途中において帳票(鑑)の修正、帳票(添付)の差し替えができる。</li> <li>権限者によって、最終決裁が完了した帳票(鑑)の発議日、受理日、決裁完了日の修正ができる。</li> <li>修正、差し替えを行った場合には、修正者、修正日、修正項目等の履歴を管理し、表示できる。</li> </ul>	○	○		
	<p>6: 書類管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書類をフォルダ分けして、体系的に管理できる。</li> </ul>				
<p>(6) 施工管理、工程管理情報の一元管理</p> <p>工事帳票、施工管理情報等を一元的に管理することで、書類の確認や保管を効率化する。</p>	<p>6-1: 共有書類管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発注者-請負者間で共有する工事書類を登録、削除、検索、閲覧、取得できる。</li> <li>「機能5: ワークフロー機能」で最終承認後の発議書類を登録できる。</li> <li>「表5-1 工事書類のフォルダ分類」で示したフォルダが初期設定されている。</li> <li>電子検査はオフラインを原則とするが、オンラインで電子検査を実施する場合は、「書類管理機能」を使用する。</li> <li>調査・設計成果、設計図書を登録できる。</li> </ul>	○	○		
	<p>6-2: 発議書類管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「機能5: ワークフロー機能」で最終承認後の工事書類を、再確認の後にフォルダに自動登録できる。</li> <li>工事書類をフォルダ構成(ツリー構造)で一覧表示でき工事書類を閲覧できる。特に、帳票は、帳票様式で閲覧できる。</li> </ul>	○	○		
	<p>6-3: 未発議書類管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作成中の発議書類を一時保存できる。</li> <li>一時保存された発議書類を修正、削除できる。</li> </ul>	○	○		
<p>(7) 民間の情報共有</p> <p>JVの会社間、本社~支社間でも情報共有を行い、請負者の作業を効率化する。</p>	<p>工事情報提供機能</p> <p>工事情報提供機能(手動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工程管理情報、安全管理情報、工事進捗等のデータを帳票データファイル(帳票XMLファイル、添付ファイルなど)として取得できる。</li> <li>※「機能10-1: 帳票データファイル入出力機能」で対応</li> </ul>	○	○		
	<p>工事情報提供機能(データ連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム間で工程管理情報、安全管理情報、工事進捗等のデータを連携できる。</li> </ul>	×	×		
<p>(8) 電子データによる検査・検査準備作業の効率化</p> <p>蓄積した書類情報の検索・表示を可能とし、検査を迅速、かつ的確に実施する。</p> <p>施工中に登録された情報から検査データを自動作成することで、検査準備を効率化する。</p>	<p>6: 書類管理機能</p>				
	<p>6-2: 発議書類管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事書類を、工事書類の名称、日付などにより検索、及び並び替えし、一覧表示できる。</li> <li>工事書類をフォルダ構成(ツリー構造)で一覧表示でき工事書類を閲覧できる。特に、帳票は、帳票様式で閲覧できる。</li> <li>ファイルを指定してファイル出力できる。</li> </ul>	○	○		
	<p>7: 工事書類等出力・保管支援機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子成果品(工事完成図書)及び工事書類(電子)に整理した工事書類について一括又は一部を外部媒体に出力できる。</li> <li>電子成果品(工事完成図書)及び工事書類(電子)は、当該工事に適用される電子納品要領の仕様(フォルダ構成、ファイル命名など)が自動で作成できる。</li> <li>抽出した工事書類のデータや「機能1: 工事基本情報管理機能」で管理されている工事基本情報等から管理ファイルを作成できる。</li> </ul>	○	○		
<p>(8) 電子成果品、工事書類(電子)の保管作業軽減</p> <p>施工中に登録された電子成果、工事書類(電子)を外部に出力し支援する。</p>					
	<p>(10) ワンデーレスポンス等の円滑な実施</p> <p>発注者から問い合わせを把握できるようにし、即日対応を支援する。</p>	<p>5: ワークフロー機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンデーレスポンスを支援するため回答希望日、受理日付、予定日、回答日等が設定できる。</li> </ul>	○	○	

(11) 共有サーバ間、関連システムとのデータ・システム連携 複数の情報共有システム間、情報共有システムと関連するシステム間を連携し、利用しやすいシステム環境を構築する。	10: データ・システム連携機能				
	10-1: 帳票データファイル入出力機能 ・ 帳票データファイル（帳票XMLファイル、添付ファイルなど）※2を発議単位で、登録、取得できる。	○	○		
	データ移管機能※3 ・ 「機能6: 書類管理機能」で登録された工事書類を移管できる。	○	○		
	データ・システム連携機能 ・ 請負者が利用する情報共有システム及び関連システムと、情報共有システム間でデータ交換・連携できる。	×	×		
—	11: システム管理機能				
	システム利用開始機能 ・ 工事情報（工事件名、対象工事のシステム利用者等）を登録、削除できる。	○	○		
	ユーザ管理機能 ・ 利用者ごとのID、パスワード等を登録、変更、削除できる。	○	○		
	アクセス管理機能 ・ 利用者ごとのアクセス権限を設定できる。	○	○		
	マスタ管理機能 ・ 共通して利用する雛形文章などをマスタ情報として登録、変更、削除できる。	○	○		
(12) 維持管理業務での活用 施工段階で登録された情報を、維持管理で利用するシステムへ引継ぎ、維持管理業務を効率化する。	保管管理システム等連携機能 ・ 維持管理に必要な情報を電子納品・保管管理システム、または維持管理システムに直接登録できる。	×	×	未定	保管管理システムの仕様がわかればカスタマイズ可能
(13) 資材会社からの製品情報提供 製品情報などを電子データで利用可能とし、紙と電子の二重管理を排除することで、書類の作成を効率化する。	製品及び資材情報の連携機能 ・ 製品及び資材情報などを電子データで利用できる。	×	×	未定	必要に応じてカスタマイズが可能

#### 4. 全体に関する事項

#### 5. PRや補足事項等

- 『BeingCollaboration』の概要及び実績  
『BeingCollaboration（ビーイングコラボレーション）』は、受発注者間の情報共有を簡単、安価に実現する建設業界向けのASPサービスです。土木・建築・設備などの業種を問わず広く建設業界の方々にご利用頂いております。全国の公共・民間工事での導入実績があります（北海道開発局・東北・北陸・中部・近畿・九州の各地方整備局等の公共発注機関、その他地方自治体、民間企業等での利用実績があります。
- 機能の特徴  
機能面は情報共有システム機能要件（Rev3.0）に準拠しておりますので、安心してご利用頂けます。オリジナル機能としては現場の情報を簡単にWEBで公開し、関係者間や周辺住民への情報発信を行う現場ホームページ作成機能や、工程管理ソフト（弊社工程管理ソフト）と情報共有システム上のスケジュールを連携させる機能、社内の工事情報書庫との連携機能等、情報共有にとどまらず、更に有効に活用できる機能を多数備えています。もちろん、発注者と受注者の間での情報共有だけでなく、受注者側企業内部でのグループウェアとしての利用ができ、企業のIT化を進めることができます。組織をまたがって情報共有をすることができるので、受発注者間だけでなく、外部の協力業者とのやり取りにもご利用頂けます。
- サポート体制について  
ユーザー様専用のヘルプデスクを設置しており、専任の担当者が電話、メール等でお問い合わせを承ります。また、全国各地にある弊社営業拠点からのサポート体制も整っています。